

基礎数学 A2	入学年度	学部	学科	組	番号	検	氏名
金曜2限 担当: 鎌田 政人							

- 筆記用具以外の持ち込みは不可.
- 最終的な答えだけを書くのではなく、途中の計算や説明も簡潔に加えること。これがない場合、大幅な減点をすることもある。

1)  $f(x) = \frac{-x+3}{2x-1}$  とする.

a)  $f(x)$  の定義域を述べよ.

分母  $\neq 0$  より,  $x \neq \frac{1}{2}$ . (正確には  $\{x \mid x \in \mathbb{R}, x \neq \frac{1}{2}\}$ )

b)  $f(x)$  を  $a + \frac{b}{2x-1}$  の形に表せ.

$-x+3$  を  $2x-1$  で割ると, 商は  $-\frac{1}{2}$ , 余りは  $\frac{5}{2}$  だから,

$$\frac{-x+3}{2x-1} = -\frac{1}{2} + \frac{\frac{5}{2}}{2x-1}$$

c)  $x$  が  $-2$  から  $-2+h$  まで変化するときの  $f(x)$  の平均変化率を求め,

なるべく簡単な形で表せ.

$$f(-2+h) = \frac{-(-2+h)+3}{2(-2+h)-1} = \frac{-h+5}{2h-5},$$

$$f(-2) = \frac{-(-2)+3}{2(-2)-1} = -1 \text{ より,}$$

$$\frac{f(-2+h) - f(-2)}{h} = \frac{\frac{-h+5}{2h-5} - (-1)}{h} = \frac{-h+5 + (2h-5)}{h(2h-5)}$$

$$= \frac{h}{h(2h-5)} = \frac{1}{2h-5}$$

d)  $f(x)$  の  $x = -2$  における微分係数を極限による定義を用いて直接計算せよ.

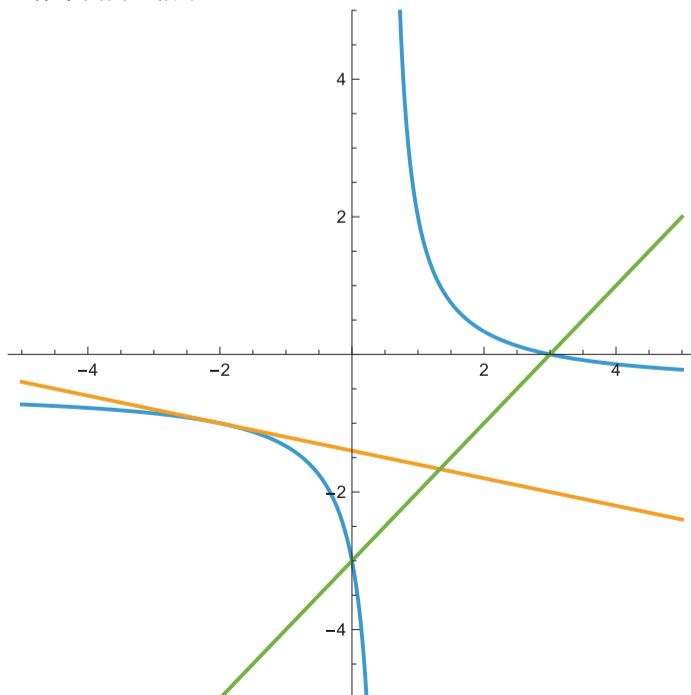
$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(-1+h) - f(-1)}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{1}{2h-5} = \frac{1}{0-5} = -\frac{1}{5}$$

e)  $y = f(x)$  のグラフの  $(-2, f(-2))$  における接線の方程式を求めよ.

$f(-2) = -1, f'(-2) = -\frac{1}{5}$  なので, 接線は  $(-2, -1)$  を通り, 傾き  $-\frac{1}{5}$  の直線.

$$y + 1 = -\frac{1}{5}(x + 2) \Leftrightarrow y = -\frac{1}{5}x - \frac{7}{5}$$

f)  $y = f(x)$  のグラフ, e) で求めた接線, および直線  $y = x - 3$  を下の座標平面内に描け.



g) 次の連立方程式の解を求めよ.

$$\begin{cases} y = \frac{-x+3}{2x-1} \\ y = x-3 \end{cases}$$

$y$  を消去して,  $\frac{-x+3}{2x-1} = x-3$ . 分母を払って,

$$-x+3 = (2x-1)(x-3) \Leftrightarrow -x+3 = 2x^2-7x+3$$

$$\Leftrightarrow 2x^2-6x=0 \Leftrightarrow 2x(x-3)=0 \Leftrightarrow x=0, 3$$

$x=1$  のとき  $y=-3, x=4$  のとき  $y=0$ .

(答)  $(x, y) = (0, -3), (3, 0)$

h) グラフを利用して不等式  $\frac{-x+3}{2x-1} \leq x-3$  を解け.

$y = \frac{-x+3}{2x-1}$  のグラフが直線  $y = x-3$  より下にある  $x$  の範囲を求めればよい. グラフより,  $0 \leq x < \frac{1}{2}$  または  $x \geq 3$ .

i)  $y = f(x)$  の逆関数  $y = f^{-1}(x)$  を求めよ.

$y = \frac{-x+3}{2x-1}$  を  $x$  について解く. まず, 両辺に  $2x-1$  をかけて,  $(2x-1)y = -x+3$ . これを  $x$  について整理すると  $(2y+1)x = y+3$ . この方程式は  $y \neq -\frac{1}{2}$  のときのみ解を持ち, その解は  $x = \frac{y+3}{2y+1}$ .

したがって,  $f^{-1}(y) = \frac{y+3}{2y+1}$ . ここで,  $x$  と  $y$  を入れ換えて,

$$f^{-1}(x) = \frac{x+3}{2x+1}.$$

j)  $y = f(x)$  および,  $y = f^{-1}(x)$  の定義域・値域を示せ.

$$y = f(x)$$

$$y = f^{-1}(x)$$

$$\begin{cases} \text{定義域: } x \neq \frac{1}{2} \\ \text{値域: } y \neq -\frac{1}{2} \end{cases}$$

$$\begin{cases} \text{定義域: } x \neq -\frac{1}{2} \\ \text{値域: } y \neq \frac{1}{2} \end{cases}$$

2)  $a$  を正の定数とすると,  $a$  を底とする対数関数  $f(x) = \log_a x$  の導関数  $f'(x)$  を求めよ. ここで,  $(\log x)' = \frac{1}{x}$  は既知とする.

[ヒント: 底の変換公式を用いるとよい.]

$$\text{底の変換公式により, } \log_a x = \frac{\log x}{\log a}$$

$$\therefore (\log_a x)' = \left(\frac{\log x}{\log a}\right)' = \frac{1}{\log a} (\log x)' = \frac{1}{x \log a}$$

3  $f(x) = \sqrt{-2x+7}$  とする。以下の問いに答えよ。

a) 関数  $y = f(x)$  の定義域と値域を求めよ。

根号内  $\geq 0$  より、 $-2x+7 \geq 0 \Leftrightarrow x \leq \frac{7}{2}$   
 $\sqrt{\quad}$  は正または 0 の値をとるので、値域は  $y \geq 0$

b)  $y = f(x)$  の逆関数  $y = f^{-1}(x)$  を求め、その定義域と値域を述べよ。

$y = \sqrt{-2x+7}$  の両辺を 2 乗し、 $y^2 = -2x+7$ 。これを  $x$  について解くと、  
 $x = -\frac{1}{2}(y^2 - 7)$ 。ここで、 $x$  と  $y$  を入れ換えて、 $y = -\frac{1}{2}(x^2 - 7)$ 。  
したがって、 $f^{-1}(x) = -\frac{1}{2}(x^2 - 7)$  である。

$y = f^{-1}(x)$  の定義域は  $y = f(x)$  の値域に対応して制限され、 $x \geq 0$ 。  
また、値域は  $y = f(x)$  の定義域に対応して、 $y \leq \frac{7}{2}$ 。

c)  $f(x)$  の導関数  $f'(x)$  を求めよ。(定義に戻る必要はない。)

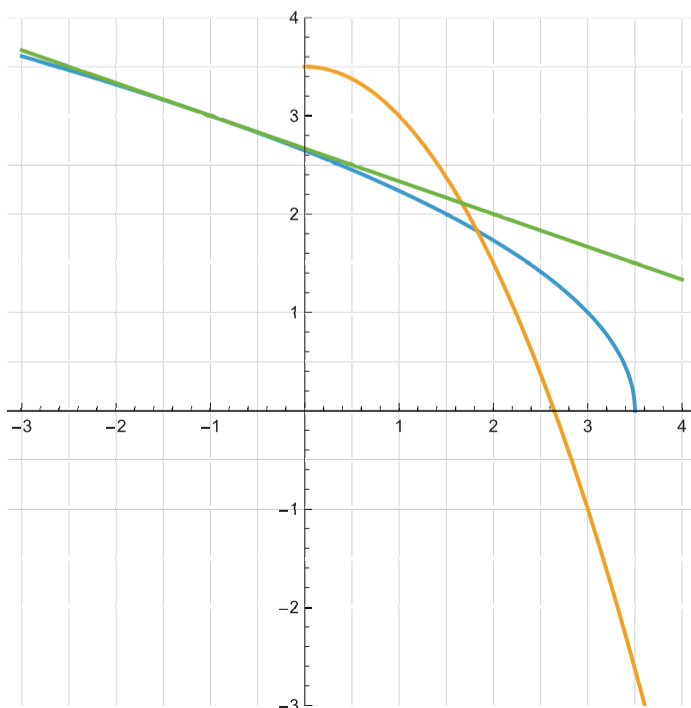
$$f'(x) = ((-2x+7)^{\frac{1}{2}})' = \frac{1}{2}(-2x+7)^{\frac{1}{2}-1} \cdot (-2x+7)'$$

$$= \frac{1}{2}(-2x+7)^{-\frac{1}{2}} \cdot (-2) = \frac{-1}{\sqrt{-2x+7}}$$

d)  $y = f(x)$  のグラフの  $(-1, f(-1))$  における接線の方程式を求めよ。

$f(-1) = 3$ 、 $f'(-1) = -\frac{1}{3}$  なので、接線は  $(-1, 3)$  を通り、傾き  $-\frac{1}{3}$  の直線。  
 $y - 3 = -\frac{1}{3} \cdot (x + 1) \Leftrightarrow y = -\frac{1}{3}x + \frac{8}{3}$

e)  $y = f(x)$  のグラフ、 $(-1, f(-1))$  における接線、および逆関数  $y = f^{-1}(x)$  のグラフの 3 つを右上の座標平面内に描け。



4  $f(x) = \frac{1}{2}x^2 + \sqrt{4-x^2}$  とする。

a) 関数  $y = f(x)$  の定義域を求めよ。

根号内  $\geq 0$  より、 $4-x^2 \geq 0 \Leftrightarrow -2 \leq x \leq 2$

b)  $f(x)$  の導関数  $f'(x)$  を計算せよ。(定義に戻る必要はない。)

$$f'(x) = x + \frac{(4-x^2)'}{2\sqrt{4-x^2}} = x + \frac{-x}{\sqrt{4-x^2}}$$

$$= \frac{x(\sqrt{4-x^2}-1)}{\sqrt{4-x^2}}$$

c)  $f'(x) = 0$  となる  $x$  の値を求めよ。

$$f'(x) = \frac{x(\sqrt{4-x^2}-1)}{\sqrt{4-x^2}} = 0 \text{ より、} x(\sqrt{4-x^2}-1) = 0$$

$$\Leftrightarrow x = 0, \text{ または } 4-x^2 = 1 \Leftrightarrow x = 0, \pm\sqrt{3}.$$

d)  $f'(x) > 0$  となる  $x$  の値の範囲を求めよ。

$4-x^2$  は定義域内で正の値をとるので、 $f'(x) > 0 \Leftrightarrow x(3-x^2) > 0$ 。  
これを解き、 $-2 < x < 2$  とあわせて  $-2 < x < \sqrt{3}$ 、または  $0 < x < \sqrt{3}$

e)  $f(x)$  の増減表を完成させよ。

$x$	-2	...	$-\sqrt{3}$	...	0	...	$\sqrt{3}$	...	2
$f'(x)$	$\times$	+	0	-	0	+	0	-	$\times$
$f(x)$	$\times$	$\nearrow$	$\frac{5}{2}$	$\searrow$	2	$\nearrow$	$\frac{5}{2}$	$\searrow$	$\times$

f)  $f(x)$  が定義される範囲内での極大値・極小値があればそれを求めよ。

極小値: 2 ( $x = 0$ )

極大値:  $\frac{5}{2}$  ( $x = \pm\sqrt{3}$ )。

5 次の各々の関数の導関数を求めよ。

a)  $f(x) = x\sqrt{1-x}$

$$f'(x) = (x)'\sqrt{1-x} + x(\sqrt{1-x})' = \sqrt{1-x} + x((1-x)^{\frac{1}{2}})'$$

$$= \sqrt{1-x} + x \cdot \frac{1}{2}(1-x)^{-\frac{1}{2}} \cdot (1-x)'$$

$$= \sqrt{1-x} + \frac{-x}{2\sqrt{1-x}} = \frac{2(1-x)-x}{2\sqrt{1-x}}$$

$$= \frac{2-3x}{2\sqrt{1-x}}$$

b)  $f(x) = \sqrt[3]{2x^5+5}$

$$f'(x) = ((2x^5+5)^{\frac{1}{3}})'$$

$$= \frac{1}{3}(2x^5+5)^{\frac{1}{3}-1} \cdot (2x^5+5)'$$

$$= \frac{10x^4}{3\sqrt[3]{(2x^5+5)^2}}$$

c)  $f(x) = \frac{x^2-4x+5}{(x-2)^2}$

$$f'(x) = \frac{(x^2-4x+5)'(x-2)^2 - (x^2-4x+5)((x-2)^2)'}{(x-2)^4}$$

$$= \frac{(2x-4)(x-2)^2 - (x^2-4x+5) \cdot 2(x-2)}{(x-2)^4}$$

$$= \frac{2(x-2)^2 - 2(x^2-4x+5)}{(x-2)^3}$$

$$= \frac{2(x^2-4x+4 - (x^2-4x+5))}{(x-2)^3} = \frac{-2}{(x-2)^3}$$

基礎数学 A2	入学年度	学部	学科	組	番号	検	氏名
金曜2限 担当: 鎌田 政人							

6)  $f(x) = (\log x)^2$  とする.

a)  $f(x)$  の定義域を述べよ.

真数条件より  $x > 0$

b)  $f(x)$  の導関数  $f'(x)$  を求めよ.

$$f'(x) = 2 \log x \cdot (\log x)' = \frac{2 \log x}{x}$$

c)  $f'(x) = 0$  となる  $x$  と,  $f'(x) > 0$  となる  $x$  の範囲を求めよ.

$$f'(x) = 0 \Leftrightarrow \frac{2 \log x}{x} = 0 \Leftrightarrow \log x = 0 \Leftrightarrow x = 1$$

$$f'(x) > 0 \Leftrightarrow \frac{2 \log x}{x} > 0 \Leftrightarrow \log x > 0 \Leftrightarrow x > 1$$

d)  $f(x)$  の2次導関数  $f''(x)$  を求めよ.

$$\begin{aligned} f''(x) &= \left( \frac{2 \log x}{x} \right)' = \frac{2(\log x)'x - 2 \log x \cdot (x)'}{x^2} \\ &= \frac{2 - 2 \log x}{x^2} = \frac{2(1 - \log x)}{x^2} \end{aligned}$$

e)  $f''(x) = 0$  となる  $x$  と,  $f''(x) > 0$  となる  $x$  の範囲を求めよ.

$$f''(x) = 0 \Leftrightarrow \frac{2(1 - \log x)}{x^2} = 0 \Leftrightarrow \log x = 1 \Leftrightarrow x = e$$

$$f''(x) > 0 \Leftrightarrow \frac{2(1 - \log x)}{x^2} > 0 \Leftrightarrow \log x < 1 \Leftrightarrow x < e$$

f)  $f(x)$  の増減表を完成させよ. (増減だけでなくグラフの凹凸も調べ, 曲がった矢印 ↗ ↘ ↙ ↖ で表すこと.)

$x$	0	...	1	...	$e$	...
$f'(x)$	↘	-	0	+	+	+
$f''(x)$	↘	+	+	+	0	-
$f(x)$	↘	↘	極小	↗	変曲点	↗

g)  $f(x)$  が極大・極小となる  $x$  の値があればそれを求めよ.

極大: なし

極小:  $x = 1$

h)  $y = f(x)$  のグラフの変曲点の  $x$  座標を求めよ.

$x = e$

7) 曲線  $y = e^{-x}$  の接線で, 原点  $(0, 0)$  を通るものの方程式を求めよ. また, その接点の座標を求めよ.

$f(x) = e^{-x}$  とおくと,  $f'(x) = -e^{-x}$  なので,  
 $y = e^{-x}$  の  $(a, e^{-a})$  における接線の方程式は

$$y - e^{-a} = -e^{-a}(x - a)$$

$$\Leftrightarrow y = -e^{-a}x + e^{-a} + ae^{-a}$$

ここで,  $(x, y) = (0, 0)$  とおくと,  $0 = e^{-a} + ae^{-a} \Leftrightarrow a = -1$

したがって, 求める接線の方程式は  $y = -e^{-1}x$

また, 接点は  $(-1, e)$

8) 元本  $A$  を年利  $r$  の連続複利で運用すると, 1年後の元利合計は  $Ae^r$  となる. いま, 年利が7%, すなわち  $r = 0.07$  だとすると, 何年後に元利合計が元本の2倍以上になるか.  $\log 2 = 0.693$  として計算せよ.

$m$  年後の元利合計は  $A(e^r)^m = Ae^{7m}$ .

これが2倍以上になるには,  $Ae^{7m} \geq 2A$  とならなければならない.

$e^{7m} \geq 2$  の両辺の自然対数を取り,  $\log e^{7m} \geq \log 2 \Leftrightarrow 7m \geq \log 2$ .

よって,  $m \geq \frac{\log 2}{7} \approx \frac{0.693}{7} = 0.99 \dots$

すなわち, およそ9.9年後に2倍以上になる.

【解答用紙が足らなければこの部分も使用して下さい】